

12月定例会

一般質問

市政を問う

議員11名



住岡 改革の具体的なプランは。

市長 一市4制度の解消・教育環境整備・行政の人員費削減など、計画段階から数値目標を明確に示し改革を実施した項目に關しては、初期の目標を達成した。ただ、職員の人材育成や組織づくりのような具体的な数値により計りづらい項目、公営企業の健全な経営化などに課題が残る。
現在、行財政改革推進本部にワーキンググループを設置し、第一次行財政改革の成果と課題を十分に整理のうえ、第二次行財政改革大綱及び実施計画の策定作業に着手する。



越野 市の財政予測は。

市長 市の主要財源である地方交付税・市民税の減額などにより、引き続き予断を許さない状況である。
将来の予算規模は130億円台と設定した。

越野 部署の再構築は。

市長 平成22年までの定員計画では70人の職員減を掲げ、体制整備を進める。

今後は支所・出張所等の有効活用を図るとともに、地域活性化支援員の配置を行う。

越野 公共事業は。

市長 大規模な事業は計画から完了まで期間が長

進み続ける改革・協働の町づくり

答 地域活性化支援員を配置

住岡 淳一 議員

住岡 地域力を活かした協働の町づくりを掲げているが。

市長 合併後、自治会組織の形成に努めてきた。結果、平成18年度には、本市全域で自治組織の形成が図られ、現在はその連動組織も機能し始めている。自治会組織成立の経緯や役割等について地域の実情が異なっていることから、旧4町間で大きく異なっている。
今後、地域が発展していくためには、各地域のニーズに応じた行政サービスを提供していく必要がある。地域の活性化のためには、行政から画一的に補助するのではなく、市民の意見を聞きながら、地域と行政が互いの役割を認識し、連携しながら



▲ 区民が集合 花いっぱい運動 (江田島町中郷)

ら市政を推進することが大切と考え、来年度から地域活性化支援員を配置し、地域課題の把握や新たな組織づくりを支援していく。

住岡 市内消防団の再編と自治会との関係は。
市長 地域間同士が連携を図ることで、十分に機能する。

財政再生は全力で

答 中期財政計画を策定

越野 哲也 議員

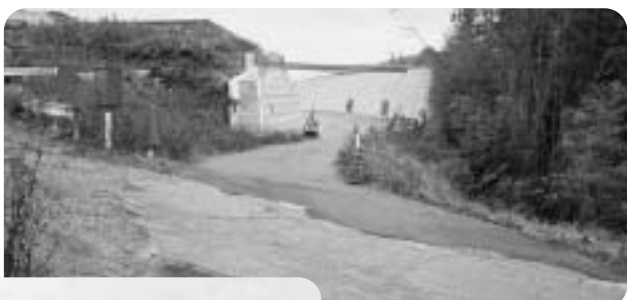
くかかり、その間に経済情勢・人口動向など変化するので、再評価を実施できるものはしたい。市民の安全を守る事業は、引き続き進める。

越野 職員、議員の給与等の適正化は。

市長 社会情勢を考慮し、聖域なき改革を進める。

越野 各種助成金、補助金等の見直しは。

市長 各種団体、福祉、農業、漁業など様々な補助金がある。
今後は時代にあった適正なものにする。



▲ 整備中の八王寺農道 (大柿町)



▲ 整備が進む小用港